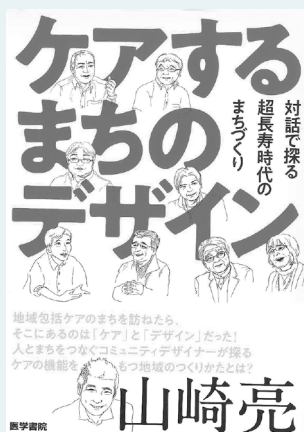


今月の

5冊



## ケアするまちのデザイン 対話で探る超長寿時代のまちづくり

山崎亮＝著  
本体2000円＋税  
医学書院 ☎03-3817-5600

地域の課題を、住民たち自身で解決するための手助けをする「コミュニティデザイン」。その第一人者が、地域包括ケアの先進4地域であるこぶし園、チーム永源寺、幸手モデル、Share金沢のケアの実践者、まちづくりの実践者と話し合い、そのプロセスを丁寧に聞き取った。地域共生社会をつくる鍵は、デザインとケアの融合にあった!?

## 2019年度版 医療福祉総合ガイドブック

NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会＝編  
本体3300円＋税  
医学書院 ☎03-3817-5600



医療・福祉サービスを利用者の生活場面に沿って解説したガイドブックの2019年度版。面接や訪問にも携帯できるよう、最新情報をわかりやすくコンパクトに編集。児童虐待・配偶者虐待、複雑化する生活扶助基準額計算式などを追加。医療ソーシャルワーカー、退院支援や訪問看護を担う看護師、ケアマネジャーなど、医療・福祉従事者の定番書。

## おもてなし 訪問看護接遇マナーハンドブック

訪問看護おもてなし接遇マナーハンドブック  
製作委員会＝編  
本体1200円＋税  
発行 株式会社アドナース ☎075-754-6174  
発売 ラグーナ出版 ☎099-219-9750



訪問時の適切な所作や言葉遣いは、「利用者さんを大切に思っている」ことを自然に伝える。この本は、マナーに迷うことなく利用者さんに寄り添うための必読書。訪問看護師以外の訪問系の医療職や介護職の方々にもおすすめ。看護師・作家「おたんこナース」の小林光恵氏、推薦!

## 認知症と民法

公私で支える高齢者の地域生活 第1巻

小賀野晶一、成本迅、藤田卓仙＝編  
本体3200円＋税  
勁草書房 ☎03-3814-6861



独居で認知症を発症した80代女性を事例に、判断能力の低下などを時系列で捉え、そこで起こるさまざまな問題について、民法の視点から解説。成年後見制度、消費者保護、高齢者の医療、生活など、地域での生活を支援する現場の悩みに対し、民法はどのような役割を果たすのか、そこでの課題は何かを記述。高齢者を援助する人必携の1冊。

## 住民主体の楽しい「通いの場」づくり 「地域づくりによる介護予防」進め方ガイド

近藤克則＝編  
本体1800円＋税  
日本看護協会出版会 ☎0436-23-3271



日本老年学的評価研究機構と、全国の市町村職員・住民による20年間のノウハウと知見を凝縮した「地域づくりによる介護予防」の進め方をまとめた書。住民主体の「通いの場」をつくるための共通認識の形成、運営主体となる住民ボランティアの育成、運営・継続など、事例を交えて解説する。準備から評価・分析まで、何をどうすればよいのかがわかる。